



# ニゴロブナを知って増やそう



## 活動のねらい

ニゴロブナの正面からの顔のスケッチ等を通して湖魚への愛着を持つ。そして、ニゴロブナの生息状況の変遷を知り、個体数減少の原因を考えつつ、その問題意識を高める。これらの活動を通して、稚魚を放流することが、琵琶湖の生き物の命を守ることに繋がっていることを実感する。

【時期】 6月～7月

【場所】 (班での考えの交流) 活動室または学習室  
(水産課職員の話) 学習室  
(稚魚の放流) 長浜豊公園の西部の浜

【時間】 (班での考えの交流) 10分(1日目寄港地活動下船前)  
(水産課職員の話) 15分(1日目寄港地活動下船前)  
(稚魚の放流) 10分(ウォークラリーのポイント)

【準備物】 水産課職員の話 ……パソコン、プロジェクター(船内常備)  
稚魚の放流 ……ワークシート(FSのホームページよりダウンロード可)

## 主な活動の流れ

### 事前学習

### ニゴロブナが減ってきた原因を予想しよう

- ニゴロブナの特徴や生活の様子、わたしたちの生活との関わり(フナずし等)を知る。 **スライドA** **ワークシート①**
- ニゴロブナの顔を正面からスケッチする。 ※
- ニゴロブナがどこでどのように育つか知る。 **ワークシート②**
- フナ類の漁獲量の推移を知り、資料を基にニゴロブナ減少の原因を予想する。 **スライドB** **ワークシート③** ※

### 減ってきているニゴロブナの稚魚を放流しよう

- ① ニゴロブナが減ってきた原因について、自分と友達の考えの違いを知り、他の友達に伝える。  
・班ごとに考えを交流する。
- ② ニゴロブナが減ってきた原因について、**スライドC** 県水産課からその答えを聞く。 ※
- ③ ニゴロブナの稚魚を放流する。  
・ニゴロブナの成魚を観察し、県水産課の説明を聞く。  
・ニゴロブナの稚魚を放流する。(長浜豊公園の西部の浜)  
・稚魚の放流で気づいたこと、思ったことなどをワークシートにまとめる。 **ワークシート④**



### フローティングスクール

### ニゴロブナを守る人々の取り組みを調べよう

- ニゴロブナ減少の原因をさらに調べる。 **スライドD** ※  
[学習例] ・食糧増産を目的とした内湖埋立ての歴史について ※  
・カワウによる魚類の捕食、竹生島におけるカワウ問題について  
・湖岸道路の建設等に伴うヨシ帯の減少等について
- ニゴロブナの生息環境や食文化を守るために進められている人々の取り組みを調べる。  
[学習例] ・ヨシ帯の造成工事、ヨシ群落の保全について  
・外来魚の駆除、外来魚回収事業について  
・水田を利用したニゴロブナの稚魚の生産・放流について  
・魚のゆりかご水田プロジェクトについて

※スライドA、C、Dおよび、ワークシート②は、県水産課の資料を編集して作成しています。

### 事後学習